

2024-2025

Rotary 

第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ

WEEKLY

例会場 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 事務局 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
 http://www.toyohashi-golden-rc.jp
 email golden@toyohashi-golden-rc.jp

ステファニー A. アーチック会長
 RIテーマ

吉川公章ガバナー
 地区方針

本多英司会長
 クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
 成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

第28回(通算1686回)例会報告	令和7年2月7日(金)	卓話例会
ゲスト	豊橋総合動植物公園 公園長 伊藤紀治氏、公開例会出席者：4名	
出席報告	総会員数54名(計算会員数49名)欠席10名出席率79.59% 前々回修正出席率95.92%	
歌/会場	国歌・奉仕の理想	会場：ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～

会長の時間

本多英司会長



選は

みなさんこんにちは。

今週は、以前からご案内しているように、入会をご検討していただいている方対象の公開例会としております。

新入会員候補者 4名のみなさま、お越しいただきありがとうございます。

そして今日のゲストスピーカーは伊藤紀治様。私たち豊橋GRCととてもなじみの深い豊橋動植物公園の公園長です。

ここ数年、歴代の公園長は、私が街づくり活動をしてきた時に一緒に活動していただいた方ばかりで、現在の伊藤さんとも多くの場面でご一緒させていただきました。当時は「まちの遊撃手」と呼ばれていました。今でもそうですが、まちのためにたくさんの情報発信と活動をしておられる方です。今日は卓話をお願いしております。どうぞよろしく願いいたします。

今日の会長の時間では、まず先に初めてお越しになった方々へ私たちのクラブの紹介をさせていただき、その後、先週時間切れでお話しできなかった「節分のお話」について、「是非聞きたい」という声をいただいたのでお話ししたいと思います。

私たち豊橋ゴールデンロータリークラブは、1988年(昭和63年)10月28日、豊橋RCをスポンサークラブとして、45人のチャーターメンバーでスタートしました。当時のクラブ設立条件には「金曜日の気楽な仲間の集い」「活力に満ちた仲間の集い」「金色のように輝く仲間の集い」とあります。これが「ゴールデン」という名前の由来である、と聞いております。

そして、今年37年目となります。

現在のメンバーは54名。年代も30代から90代まで、まさに老若男女、幅広い方々に在籍いただいています。

私たちは毎年、その時代に合わせた、想いのこもったクラブ方針を掲げ、活動しています。

本年度のクラブ方針は『選ばれるブランドを育てよう』としました。『ブランド』とは、他と区別できる“らしさ”を持った「集団」(「クラブ」)であり、その“らしさ”に共感し、ファンになるのだと考えます。

豊橋ゴールデンロータリークラブ“らしさ”を活かし、クラブ内外含め多くの方々に共感していただき、ファンになってもらえるような、『選ばれるブランド』の力を持った、魅力あるクラブとして、成長を続けたいという思いからこの方針としました。

36年間様々な活動をしています。最近では社会奉仕活動として、豊橋動植物公園で絶滅危惧種動物保護のための環境保護活動をしたり、国際奉仕として、フィリピンやベトナムで子供達のためになる活動をしています。これらはいずれも「ロータリーの友」という全国紙に大きく取り上げられています。

そして今年度も、国際奉仕としての活動を、世界一幸せの国といわれるブータン王国にて計画しています。初めての試みであり、海外を相手の事業なので、中々難航していますが、常に新しいチャレンジをし続けたいと考えています。以上が当クラブの紹介です。

続きまして時事ネタとして5日ほど過ぎてしまいましたが、「節分のお話」について少しだけ。

節分と言えば2月3日。これ絶対固定と思っている方多いと思います。実際私もそうでした。でも、今年の節分2月2日でした。なぜでしょう？

節分は「季節を分ける」と書きます。まさに文字通り季節の分け目の日。

節分は春の始まりである「立春」の前日とされています。

そしてその立春の日には毎年固定ではなく、「国立天文台」という機関の「暦計算室」というところが、星や月を見ながら決めているそうです。

今年の立春は2月3日、だから節分が前日の2月2日だったわけです。

ちなみに来年の立春は 2 月 4 日。ですので節分はいつも通り 2 月 3 日になるそうです。

節分には豆まきの習慣がありますよね。

季節の変わり目には邪気が生じると信じられていたため、邪気を払うために「鬼は外、福は内」と豆まきをする風習が生まれたそうです。

そんな中、京都府福知山市の大原神社という神社では、全国に珍しく「鬼は内、福は外」と唱えるそうです。

これは、福を自らの懐に置かず、氏子である各家庭に送る目的とのこと。

まさに、究極の「利他の心」「奉仕の精神」ですね。

来年の豆まきは、私もそれをしてみたいと思います。

最後に、私たちの活動や例会風景を、インスタグラムとフェイスブックで発信しております。1000 フォロアーを目指していて、着実に増えています。今日見たら 146 フォロアーでした。あと 854 フォロアーです。今日お越しのみなさまには是非フォローといいねをお願いします。そして、仲間になっていただけることを期待しています。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

ロータリー財団寄付認証

第 3 回マルチプル・ポータルリス・フェロー
白井正樹会員



入会記念日祝い

真野善和会員



地区出向者報告

地区 RYLA 副委員長 牧 岳大会員

皆様、こんにちは。地区 RYLA 委員会に出向させて頂いて 6 年目、昨年副委員長の役目を仰せつかっている牧です。

先程は昨年の第 32 回セミナーの動画をご視聴いただきありがとうございました。そして、今年もクラブから受講生を推薦頂きありがとうございます。人と

人の間柄を考えるにあたり、リーダーシップという切り口で考える習慣を若い頃から身に着けると将来役に立つと思いますので、受講生の Hasan Mohammad Tanvir (ハサン モハammad タンヴィル) さんにとって有意義なセミナーとなるよう、気合を入れて頑張っていきます。

今、第 33 回のセミナーに向けて色々と準備を行っておりますが、今年で出向が終わりとなりますので、6 年間のまとめみたいな感じでお話いたします。本日 10 分間で、毎年、出向者報告の機会を与えて頂いておりますので、各年度の詳細は過去の会報をご覧くださいれば幸いです。また、他のクラブさんへ地区委員として卓話に伺うのは多少異なり、ゴールデンからの出向者が出向先の報告をするといった立場で報告いたします。

先程、ご覧いただいたのが年 1 回行っている地区 RYLA セミナーです。14 歳から 30 歳までの青少年を対象に、リーダーシップ研修を行っています。RYLA とは、Rotary の R、Youth の Y、Leadership の L、Awards の A を繋げたロータリー用語で、日本語訳として、ロータリー青少年指導者養成プログラムと呼ばれています。RI 公式のプログラムとなりますので、その骨格は全国、全世界共通のコンセプトということになります。そこに第 2760 地区の独自性、各年度の独自性を加えながら実践してきています。

我々のクラブでも第 6 回 RYLA セミナーを 1997-98 年度にホストクラブとして携わった過去があります。ベテラン会員さんにおかれましては、懐かしい思いがあまりかと思えます。クラブの RYLA への関わり方としては、毎年のセミナーに受講生を推薦し、受講生に例会で報告してもらい成長の機会を与えるとか、地区大会や RFF のようなイベントにお手伝いしている RYLA 学友と触れ合い、短いコミュニケーションを通じて、大切なことを少しずつ伝えるとか、青少年への直接的な働きかけが一つとしてあります。その他に、RYLA 委員会への出向者を輩出するという関わり方があります。豊橋ゴールデン RC から地区 RYLA 委員会への出向者は私で 7 人目となります。副委員長の役目は 2011-12 年度に元会員の若林さんが副委員長を担って以来ということになります。若林さんも 6 年間出向されておりました。私も今年で終わりにするのでちょうど同じ年数という感じになります。当時の若林さんの地区出向者報告、過去の会報を読ませて頂いているのですが、行間から思いを感じる部分があります。私も 6 年間携わらせて頂いたことで、共通した思いの部分があります。私も本日壇上では多少ぼやかして話させていただきます。

地区 RYLA 委員は最終的に、リーダーシップ、それを青少年に伝授することが使命となります。その手段として様々な活動を行うこととなります。手前側に各自の心の内面にある行動哲学とか、与えられたルールとか、そういったものがあるのですが、ルールに基づいた行動と良心からなる各自の行動哲学、その間の狭間というのが各 RYLA 委員の中にあります。反面、地区 RYLA 委



人と

員は若者へのリーダーシップの伝道者ですので、地区 RYLA 委員各自は1つ1つの行動にリーダーシップが伴っていないといけない形となります。各自の違いがある中で、合同の行為として各自のリーダーシップの発揮の集合により1つのまとまった形を体現していくということになります。ここで、リーダーシップのテキスト、それも全世界、全人類共通のものといったものはありますか？ということが出てくるのですが、それは現在ありません。決定や行動へのタイムリミットがある中、各自、自分自身の矜持に従って行動することとなります。4つのテストをもとに安直に他者批判に入る方もいらっしやいます。自分の矜持に抵触する決定には従えないという思いから行動に移せなくなってしまう方もいらっしやいます。やったもの勝ちという行動になってしまう方もいらっしやいます。言葉が足りないことで相互に誤解や勘違いを生じる場合もあります。基本的にルールは守った上での行動ですが、法律に立法趣旨があるように、ルールには裏側に制定された方の思いがあります。ルールを自己保身や個人的な目標のために活用とか、そうってしまったら残念な感じ。超我の奉仕 service above self というロータリーの第一モットー、私は大事だと思います。Service not self から表現が和らいだという歴史的経緯もありますので滅私奉公まで行ったら行き過ぎなのですが、青少年を守りながら育成する中で、各自の心に芽生えた打算の心は各自がもつ他者への愛情の心を以て自分の責任でコントロールして欲しいとか思うことが時々あります。モットーや自身の行動哲学、集団で行動する際の行動指針、それを若い頃に所属していた団体で得たものからロータリアンとしてというものに上手くアップデートできていない方も見受けられます。私も他団体、天台宗東海教区壇信徒会の副会長を拝命しているところですが、ロータリーの地区の委員会の世界に直接的に仏教の考えを押し付けるといったことがないよう心がけています。ですが、その任務から得られた自分の心というのが、間接的ににじみ出てしまうのはどうしようもないといったジレンマもあつたりします。

ロータリーは余裕を保てる範囲で活動するとかいう部分があるのですが、青少年を、それも未成年を保護者から預かっているとすると、その部分が綺麗事になってしまふという難題があります。委員同士の矜持の違いからなる意見の違いがそれに留まらず、やりあいという形で委員同士互いに出てしまい、互いに見える状態になるのは、青少年への責任感からそれだけプレッシャーがかかっているということでもあるのですが、学友や受講生といった若い子たちにまで大人同士のやりあいが見えてしまうということでもあつたりします。そして、若い子は若い子で、各自のステージで重さの大小はあるにしても、少なからずそういう部分で同じような悩みを抱えているということでもあります。特に RYLA セミナーに関しては、今後のリーダーシップに期待できる受講生という視点で受講生を推薦頂いているのでなおさらです。

RYLA セミナーの場合は、青少年同士が、普段なかなかディスカッションできないリーダーシップに関する日々の悩み、それを同じような立場にある受講生同士で、旅の恥は掻き捨てじゃないけど、後腐れが無い中で、安心して内面をさらけ出せる貴重な場であつたりもします。人と人が複数人集まった時のリーダーシップのあるべき形、それが共通化されていない中で、各自が模索していく。意見交換の中で互いに、時にはアドバイスを与える側、時には教えてもらう側といった具合に、受講生各自に得るものがあるようにといった進め方になります。

共通化できる部分はルールとして、思いは互いに交換して相互理解を図りということ、大事なのですが、大人であっても青少年であっても多少ギクシャクします。その中で、RYLA 学友会さんも自分たちの集まりは自分たちでという矜持を持って、受講生の方々も各自のステージで矜持を持って、時に我々を反面教師にしながら、良い未来を構築して頂ければとか思っていたりします。そういう意味では、RYLA に関わる青少年たちも、私たちロータリアンも、同じ土俵の上で、もがいている者同士といったところでもあります。この裏側には性格をタイプ別に分けて相互相性を考える社会心理学からの考えとか、医療としての精神科からの考えとか、宗教家からのアプローチとか、職業の現場で現実的に実践している我々各自とかあつたりするのですが、深掘し過ぎると、何時間あつても足りないの、ここら辺まででさせて頂きます。6年間で神経と心が疲弊するギリギリまで粘り続けたことで、とりあえずの得られたことはありますので、青少年のためにという想いを強く持ち、ガバナーから委嘱状を頂いたからには途中で投げ出さないぞという根性や執念、心の耐久力に自信がおありの方は、是非とも豊橋ゴールド RC からの8代目出向者として、ロータリアンとしての矜持をもって、地区 RYLA 委員会への出向に挑戦してみてください。

拙い話となりましたが、ご清聴ありがとうございました。

卓話「ローカル都市にある “のんほいパーク”の取り組み」



高橋哲也プログラム委員長

まずは提案の趣旨を簡単に説明します。

のんほいパークは、本格的な動物園と植物園、自然史博物館が併設された、

国内でも数少ない総合公園です。動物たちの生き活きた姿や季節ごとに変化する植物の様子に触れ、恐竜をはじめとする大昔の生物の化石から生き物の進化の歴史を学ぶことで、地球の未来を考えてもらう取り組みを行っています。

これら様々な取り組みや、発信している様子を学ぶことにより、選ばれるブランドになるために必要な要素を

学びたいということでお招きした講師をご紹介します。
豊橋総合動植物公園の伊藤 紀治 (いとう としはる) 公園長です。

- 1965(昭和 40)年 4月生まれ (59歳)
- 1988(昭和 63)年 愛知大学卒業後、豊橋市役所入庁
- 2019(平成 31)年 文化・スポーツ部長
- 2022(令和 4)年 危機管理統括部長
- 2024(令和 6)年 豊橋総合動植物公園長

主に企画畑を歩き市民との対話を通じてまちづくりを実践されてきましたが、最近の仕事ととして「まちなか図書館」の整備運営を担っておられます。豊橋東高校卒業で趣味は旅行です。



**豊橋総合動植物公園
公園長 伊藤紀治氏**

これまで豊橋ゴールデンロータリークラブ様には、絶滅危惧種をPRするための看板や名板の整備にご協力いただいています。

また、本園で保全・繁殖を目指す、地域固有希少種の「ヤマトサンショウウオ」、世界で200羽ほどしか生息していないといわれている「アカモズ」に関する啓発コーナー（ビデオ含む）の設置にもご協力いただいています。たいへん感謝している次第です。

さて、当園では、昨年末に自然史博物館が文部科学省から「研究機関の指定」を受けまして。これにより、学芸員による調査研究に取り組む環境が大きく上がりました。(科研費の上限の増等)
さらに、動植物園が愛知県より「博物館登録」され、動物研究員による調査研究活動が評価されるとともに、「学び」に対する地域貢献が一層期待されるものとなっています。

上記2例は、市町村立の博物館や動植物公園では非常に稀なケースで、自然史博物館においては、全国で8つ目

(愛知県内では初)、動植物公園においては、旭山動物園等少数となっています。

これも、自然史博物館には学芸員が9名、動物園には動物研究員が3名(他学芸員も数名)、植物園には樹木医は1名いて、常日頃からの調査研究(学会や研究会等での発表)や、地域住民への学びの機会の提供、大学や他博物館等との連携研究が評価されたものです。

こうしたことを鑑み、今後は教育機関として存在感を増していく必要があります。今後も様々な機関等との調査研究はもちろんのこと、公立の施設という点からは、一層の地域貢献に取り組むことが必要と考えています。

のんほいパークには今後、地下資源館、科学教育センターも取り込んでいくことが検討されています。

今後は、子どもたちやご家族連れのレジャー施設としてはもちろんの事、子どもたちへの教育の場に加え、大人が学べるプログラムを提供していくことも肝要です。

地域の事業者様に社員研修として活用いただくことをのんほいパークとして取り組んでいくこととしています。皆様のご協力とご支援、ご理解を賜っていきたくと思っています。



★ニコボックス
本多英司・鬼頭秀幸：伊藤紀治様！選ばれるブランドになるための取り組みについてしっかり学びたいと思います。公開例会のゲストの皆様楽しんでください。
岡本久永・真野善和・杉浦宏始・富田正行・辻 信之・鶴殿健次・酒井正樹：ようこそ伊藤紀治公園長。

村松 光：猪股ソノ子さんようこそ！ゴールデン RC 会員みなでお待ちしています！！
真野善和：入会記念日をお祝い頂き。
酒井正樹：四つのテストを唱和させて頂き。
高橋哲也：伊藤紀治様、卓話よろしくお願ひ。
神谷 馨：本日予備理事会を開催。よろしくお願ひ。
鶴殿健次：元気ですか！伊藤園長は私と同じ東高校出身です。東高校出身に悪い人はいません。
太田和彦：年末家族会の写真を頂き。
今川明彦ニコボックス副委員長

★幹事報告
・東三河分区親睦ゴルフ大会のご案内、2025 - 26 年度地区研修・協議会のご案内、蒲郡 RC より 70 周年記念誌、2025 - 26 年度ロータリー手帳のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

■2月17日(月)	豊橋南RC	豊橋東RC合同例会
■2月18日(火)	田原パRC	能登半島支援例会
	宝 飯RC	クラブフォーラム
■2月19日(水)	豊橋東RC	豊橋南RC合同例会
■2月27日(木)	豊 橋RC	クラブフォーラム